

共通点と差異点を見つけること

ハイライト：

- 共通点と差異点を見つける活動の価値
- 算数の授業づくりは、説明する活動を
- 西田先生の授業の指導事項と言語活動
- 中・高学年部会で授業づくりを
- 授業整理会は、次のように進めます。

共通点と差異点を見つける活動の価値

6月21日に行った植田先生の国語の授業での授業整理会では、講師の先生から次のようなご指導を受けました。

植田先生の授業は、説明文「自然のかくし絵」を読むことを重視したものでした。本時の学習の前半では、3種類の昆虫の身のかくし方の共通点と差異点を整理する活動が仕組んでありました。実は、この活動がとても価値のあるものでした。

まず、共通点を整理する活動についてです。子どもたちに、「共通点は、何？」と問えば、各段落に共通する語や文を見つけていきます。これは、必然的に中心となる語や文をとらえていることになるのです。併せて、段落相互の関係も考えていることとなります。正に中学年の指導事項そのものとなります。

次に、差異点を整理する活動についてです「コノハチョウ、トノサマバツ

タ、ゴマダラチョウの違いは、何？」と問えば、各段落の差異点を見つけていきます。これは、必然的に要点をまとめることになるのです。内容の要点をとらえることも、中学年の指導事項そのものとなります。

これまでの国語の学習で、「段落の要点をまとめましょう。」「段落の構成を考えましょう。」といった学習活動を行ってきたことはありませんか？このような活動では、子どもたちにとって「読み」の必然性がなく、活動の見通しも立てづらいものとなります。

研究の日常化が本年度の目標です。国語の授業づくりにおいて、指導事項に応じた言語活動の工夫を行っていくために、植田先生の授業は、とても参考になるものでした。

国語の授業をより価値あるものに変えていくために、活動内容や発問の工夫をしていきましょう。

算数の授業づくりは、説明する活動を

西田先生の授業で国語の公開授業が4回続くことになりました。4人の先生方が、説明文の学習を公開していただいたことで、学校としての国語の授業づくりの方向性が、かなり絞れてきました。今後、先生方の実践をもとに、久原小学校の国語の具体的構想を整理していきます。

算数の授業づくりにおいては、5月の提案授業以降、公開授業を行っていませんが、授業参観指導において、5人の先生方に、算数の授業を行っていただきました。

授業参観指導では、それぞれの先生方のよさを生かして、算数の学習における「聴き合い、語り合い」の授業が展開されていました。各チームでのサポートにも感謝しています。

また、課題も明らかになってきています。その一つが数学的な表現力です。課題を解決するためには、学習ノートに表現する内容や方法を高めること、考えを相互に高めていくための交流活動の工夫することが必要です。考えを説明する活動を的確に位置付け、支援していきましょう。

西田先生の授業の指導事項と言語活動。

6月28日に1年1組で公開授業を行います。今回も、部研として行っていきます。授業は全職員で参観していきます。授業整理会は、低学年部会のみで行います。講師として志免町教育委員会指導主事 光延正次郎先生にご指導いただくことになっています。

今回の西田先生の授業も、説明文の「読むこと」を重視した学習になります。

指導事項は、語や文のまとまりが分かり、書かれていることの大体をとらえることとなります。言語活動は、はちどりが花の蜜を吸っている様子を、はちどりのくちばしが細長い場合と、短

ったり太かったりした場合とを比較しながら模型で演じる活動、はちどりのくちばしときつつき、おうむのくちばしを比較する活動、くちばしのよさを表すことばを視写する活動となります。

今回の授業では、はちどりの細いくちばしは、細長い形をした花の奥にある蜜を吸いやすいつくりになっていることを読み取るために、比べて読む活動が2つ設定されています。比べて読むことが、子どもたちの説明文を読む力をどのように高めているか、授業の中で見取っていきましょう。



研究を生かした
授業づくりで、レ
ベルアップして
いきましょう。

中・高学年部会での授業づくり

6月28日の授業整理会時、中・高学年部会は、それぞれの部会で授業づくりを行っていきます。

【中学年部】

○学校訪問授業審議

案浦（道徳）・植田（国語）

川見（算数）・井上（算数）

高倉・松原（生活単元学習）

【高学年部】

○学校訪問授業審議

豊原（算数）・野口（道徳）

安部・力丸（国語）

江崎（算数）

7月5日の学校訪問では、研究テーマに応じた学習を行っていきます。

国語では、説明文を読む力を高めていくために、言語活動の工夫をしている点が主張点となります。

算数では、既習内容を習得・活用していく力を高めていくために、算数的活動（表現活動・説明する活動）の工夫をしている点が主張点となります。

道徳では、久山町道徳推進事業と連携し、対象（家族・友達・地域）を意識した題材と授業構成を行っている点が主張点となります。

テーマを意識していきましょう。

授業整理会は、次のように進めます。

司会（小林）	記録（柴田）	於：会議室
1 講師紹介（校長）		15：15
2 協議		15：20～16：00
3 指導助言		16：00～16：40
	光延指導主事	
4 謝辞・まとめ（教頭）		16：40

※授業整理会参加者

低学年部（小林・西田・柴田・半田・周藤・中村）
校長・教頭・研究主任

※公開授業写真（半田）、研究通信（柴田）